

福島第一原子力発電所の状況

平成 26 年 6 月 18 日
東京電力株式会社

< 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (6/18 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力	原子炉格納容器 水素濃度	
1号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 1.9 m ³ /h	24.7	4.1 kPa g	A系： 0.00	vol%
		給水系：約 2.4 m ³ /h			B系： 0.01	vol%
2号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 2.5 m ³ /h	33.3	6.09 kPa g	A系： 0.06	Vol%
		給水系：約 2.0 m ³ /h			B系： 0.05	Vol%
3号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 2.4 m ³ /h	31.3	0.24 kPa g	A系： 0.05	Vol%
		給水系：約 2.0 m ³ /h			B系： 0.06	Vol%

< 2. 使用済燃料プールの状況 > (6/18 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	26.0
2号機	循環冷却システム	運転中	23.8
3号機	循環冷却システム	運転中	23.6
4号機	循環冷却システム	運転中	24.1

各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルヘビドラジンの注入を適宜実施。

< 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元	移送先	移送状況
2号機	2号機 タービン建屋	3号機タービン建屋	6/16 16:00 ~ 移送実施中
3号機	3号機 タービン建屋	集中廃棄物処理施設(雑固体廃棄物減容 処理建屋[高温焼却炉建屋])	6/16 14:42 ~ 移送実施中

< 4. 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (6/18 11:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	除染装置	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)	多核種除去設備 (ALPS)
運転 状況	停止中 ^{*1}	運転中 ^{*1}	停止中	水バランスを みて断続運転	水バランスを みて断続運転	ホット試験中 ^{*2}

*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。

*2 高性能容器(HIC)交換等を適宜実施。

< 5. その他 >

- ・H26/1/29 ~ 2号機海水配管トレンチ凍結止水工事における凍結管を設置するための削孔について、凍結管を設置するための削孔を実施中。削孔作業と並行して、3/27より挿入作業ができるようになった孔から順次、凍結管およびパッカー挿入の作業を開始。
 - 4/2 ~ 挿入が完了した凍結管について凍結を開始。
 - 4/28 ~ 4/26に全17本の凍結管の挿入作業、そのうち13本のパッカー設置作業が終了したことから、凍結管全17本の凍結運転を開始。今後、1ヶ月程度で凍結の壁を造成していく予定であり(6月頃完了予定)、凍結状況については、測温管にて確認していく。
- ・H26/3/14 13:35 ~ 共用プール西側において、凍土遮水壁の実証試験(凍結試験)を開始。
- ・H26/6/2 ~ 凍土遮水壁工事を開始。

- ・H26/6/17 15:31 頃 屋外にある5号機残留熱除去系海水ポンプ (A)のモータ下部軸封部より、油が漏えいしていることを当社社員が発見。漏えいは、床面に約3m×約0.5m×深さ最大約2mmの範囲であることを確認。その後、当該ポンプを停止したことにより油の漏えいは停止。15:46 双葉消防本部へ連絡。本件については、双葉消防本部より「危険物の漏えい事象ではない」との判断を受けた。また、当該ポンプ停止前に残留熱除去系海水ポンプ(C)を起動したことにより、原子炉の冷却は継続。
原子炉の冷却水を冷やすための海水ポンプ

- ・H26/6/18 多核種除去設備C系については、白濁の対策として全てのクロスフローフィルタを改良型クロスフローフィルタへ交換し、6/19 に処理運転を再開する予定だったが、改良型クロスフローフィルタの交換に合わせて実施していた腐食対策有効性確認において、吸着塔2Cのフランジ部2箇所に微小なすき間腐食を確認。今回確認されたすき間腐食は、吸着塔に充填された活性炭の影響によるものと考えられることから、活性炭を充填している吸着塔1C、2Cの周辺フランジ部に追加腐食対策としてガスケット型犠牲陽極への交換をする。このため、多核種除去設備(C)系については、6/22 に処理運転を再開する予定。また、多核種除去設備(A)系、(B)系についてもガスケット型犠牲陽極への交換を計画。

[地下水バイパス揚水井の状況]

- ・地下水バイパス揚水井 No.1～12 のサンプリングを継続実施中。

<最新のサンプリング実績>

地下水バイパス揚水井 No.12: 6/16 採取分

- ・全ベータ : 検出限界値未満 (検出限界値: 4.4 Bq/L)
- ・トリチウム: 2,000 Bq/L

その他の揚水井 (No.2, 4, 6, 8, 10: 6/16 採取分) の測定結果については、前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

また、地下水バイパス揚水井 No.12 の分析結果 (6/12 採取分) については、第三者機関による分析においても同等の結果だった。なお、一時貯留タンク側で評価を行った結果、一時貯留タンクの運用目標値を満足していることを確認。

地下水バイパス揚水井 No.12: 6/12 採取分

- ・全ベータ : 検出限界値未満 (検出限界値: 4.8 Bq/L)
- ・トリチウム: 1,500 Bq/L (第三者機関の測定結果: 1,600 Bq/L)

[H4, H6 エリアタンク周辺観測孔 (周辺排水路含む) の状況、タンクパトロール結果関連]

< H4 エリア周辺のサンプリング実績 >

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

< 福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績 >

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

< H6 エリア周辺のサンプリング実績 >

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

[タービン建屋東側の地下水調査 / 対策工事の実施状況]

< 地下水観測孔サンプリング実績 >

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

[地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績]

< 地下貯水槽サンプリング実績 >

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

以上